

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質									3.0
Q1 室内環境						0.40		-	3.7
1	音環境				-	0.15	3.0	1.00	3.0
	1.1 室内騒音レベル	—		-	-	3.0	0.50		
		1.2 遮音	—		-	-	3.0		0.50
	1		開口部遮音性能	—	-	-	3.0		0.30
	2		界壁遮音性能	—	-	-	3.0		0.30
	3		界床遮音性能(軽量衝撃源)	—	-	-	3.0		0.20
	4		界床遮音性能(重量衝撃源)	—	-	-	3.0		0.20
	1.3 吸音		—	-	-	-	-		
2	温熱環境				-	0.35	4.0		1.00
	2.1 室温制御	—		-	-	4.0	1.00		
		1	室温	—	-	-	-		
		2	外皮性能	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当。	-	-	4.0		1.00
		3	ゾーン別制御性	—	-	-	-		
	2.2 湿度制御		—	-	-	-	-		
2.3 空調方式		—	-	-	-	-			
3	光・視環境				-	0.25	3.7	1.00	3.7
	3.1 昼光利用	—		-	-	3.4	0.50		
		1	昼光率	2.0% ≤ [昼光率]	-	-	5.0		0.50
		2	方位別開口	—	-	-	1.0		0.30
		3	昼光利用設備	—	-	-	3.0		0.20
	3.2 グレア対策	—		-	-	4.0	0.50		
		1	昼光制御	カーテンと庇を合わせることでグレアを制御します。	-	-	4.0		1.00
	3.3 照度		—	-	-	-	-		
3.4 照明制御		—	-	-	-	-			
4	空気質環境				-	0.25	3.8	1.00	3.8
	4.1 発生源対策	—		-	-	4.0	0.63		
		1	化学汚染物質	JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	-	-	4.0		1.00
	4.2 換気	—		-	-	3.6	0.38		
		1	換気量	—	-	-	3.0		0.33
		2	自然換気性能	居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している。	-	-	5.0		0.33
		3	取り入れ外気への配慮	—	-	-	3.0		0.33
	4.3 運用管理	—		-	-	-	-		
1		CO ₂ の監視	—	-	-	-	-		
2	喫煙の制御	—	-	-	-	-			
Q2 サービス性能					—	0.30	-	-	2.7
1	機能性				3.0	0.40	2.0	1.00	2.1
	1.1 機能性・使いやすさ	—		3.0	0.57	1.0	0.60		
		1	広さ・収納性	—	-	-	-		
		2	高度情報通信設備対応	—	-	-	1.0		1.00
		3	バリアフリー計画	—	3.0	1.00	-		-
	1.2 心理性・快適性	—		-	-	3.5	0.40		
		1	広さ感・景観	住居部の天井高2.5m以上。	-	-	4.0		0.50
		2	リフレッシュスペース	—	-	-	-		-
3		内装計画	—	-	-	3.0	0.50		
1.3 維持管理	—		3.0	0.43	-	-			
	1	維持管理に配慮した設計	—	3.0	0.50	-	-		
2	維持管理用機能の確保	—	3.0	0.50	-	-			
2	耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-	2.9
	2.1 耐震・免震・制震・制振	—		3.0	0.50	-	-		
		1	耐震性(建物のこわれにくさ)	—	3.0	0.80	-		-
		2	免震・制震・制振性能	—	3.0	0.20	-		-
	2.2 部品・部材の耐用年数		—		2.9	0.30	-		-
	1	躯体材料の耐用年数	—	3.0	0.20	-	-		
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	—	2.0	0.20	-	-		
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	—	2.0	0.10	-	-		
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔	—	3.0	0.10	-	-		
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	給水SUS(C)、給湯(C)、排水VP(B)を使用。	4.0	0.20	-	-		
	6	主要設備機器の更新必要間隔	—	3.0	0.20	-	-		
	2.4 信頼性		—		2.8	0.20	-		-
	1	空調・換気設備	—	3.0	0.20	-	-		
	2	給排水・衛生設備	—	2.0	0.20	-	-		
	3	電気設備	—	3.0	0.20	-	-		
	4	機械・配管支持方法	—	3.0	0.20	-	-		
5	通信・情報設備	—	3.0	0.20	-	-			

3	対応性・更新性			3.4	0.30	3.1	1.00	3.1
	3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	
	1	階高のゆとり	階高:2.9m。	-	-	4.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	—	-	-	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		—	-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.4	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	電気配線は空配管内に設置されます。	5.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	通信配線は空配管内に設置されます。	5.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.30	-	-	2.5
1	生物環境の保全と創出		—	2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮		—	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	—	2.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	—	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-		-	3.5
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	4.1
1	建物外皮の熱負荷抑制		日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当。	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用		—	2.0	0.10	-	-	2.0
3	設備システムの高効率化		[BEI][BEIm]=0.85	5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	—	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	-	-	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	—	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	3.2
1	水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	1.00	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	—	-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60	-	-	3.0
	2.1	材料使用量の削減	—	2.0	0.10	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	—	3.0	0.20	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.20	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床:ビニル床シート、断熱材。	4.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	—	2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		—	3.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	—	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	—	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0	1.00	-	-	
	3	冷媒	—	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.0
1	地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率93%	3.2	0.33	-	-	3.2
2	地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
	2.1	大気汚染防止	—	3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	—	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	—	1.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	—	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	—	-	-	-	-	
	3	悪臭	—	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	—	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	—	-	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制	—	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	—	3.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	－	2.0	－	－	－	－	－	○	－	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0		－	－	○	－	○	○	－	－	－	－	－	－	－
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0		－	○	－	－	○	－	○	○	－	－	－	○	－
2.4.1 空調・換気設備	－		○	－	－	－	－								
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	－	－	－	－	－	－						
2.4.3 電気設備	1.0	－	－	－	－	○	－	－							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	－	○	－	－	－							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	5.0		2.0	－	2.0	－	－	1.0	－	－	－	－	－		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	－	－	－	－							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		－	－	－	－	－	1.0	－	－					
3.2 敷地内温熱環境の向上	9.0		－	3.0	－	2.0	－	－	－	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			－	－	－	－	－	－	－	－					
2.1 材料使用量の削減	－		－	－	－										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			－	－	－	－	－								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	－		－	－	－	－									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	－														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	12.0		1.0	－	2.0	3.0	1.0	－	－	2.0	3.0	－			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	－	1.0	－	－	－							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0		－	1.0	－	－		－	－						
3.2.2 砂塵の抑制	－		－	－											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		－	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	－	窓の日射熱取得率(η)		－
U値(W/m2K)	窓システム		屋根	－
住戸部分	窓システムU値	4.2	外皮UA値	0.9
			η AC	2.1
屋光率	4.2%			
自然換気有効開口面積率	25.0%			

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	－	/人	病床	－	/床	シングル	－	ツイン	－
コンセント容量	－	VA/m ²							
天井高	2.62	m							
リフレッシュスペース	－		レストスペース	－					
想定耐用年数	－	年							
想定必要間隔	－	年							
想定必要間隔	－	年							
想定必要間隔	－	年							
階高	2.9	m							
壁長さ比率	－								
床荷重	－	N/m ²							

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数	－	建物緑化指数	－
空地率	－	水平投影面積率	－
		地表面対策面積率	－
		舗装面積率	－

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m	対象外	断熱等性能等級	等級4 相当		
自然エネルギー直接利用量	-	MJ/年㎡	採光を満たす教室数	-	採光を満たす住戸数
			通風を満たす教室数	-	通風を満たす住戸数
BPI/BPI _m	非住宅	-	住宅	-	
			太陽光	-	太陽熱等
					蓄電池

3 設備システムの高効率化

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	－			
特定調達品目	ビニル床シート、省エネマーク商品	－	自治体指定の特定品目等	－
使用比率	－			
オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)			
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	3	
オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)			

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	-	隣棟間隔指標Rw	-						
地表面対策面積率	-	屋根面対策面積率	-	外壁面対策面積率	-				
見付面積Sb	-	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws	-	m	基準高さHb	-	m		
緑地	m ²	水面	m ²	保水性対策面	m ²	高反射対策面	m ²	再帰性反射対策面	m ²